
第 17 回岩石-水相互作用国際会議
第 14 回応用同位体地球化学国際会議
<WRI-17/AIG-14>

趣 意 書

共催セッション

第 17 回岩石-水相互作用国際会議組織委員会

2023 年 6 月

ご挨拶

この度、第17回岩石-水相互作用国際会議および第14回応用同位体地球化学国際会議を、2023年8月に宮城県仙台市にて開催させていただくことになりました。多くの先達により築き上げられた歴史と伝統を引き継いで、本会議の組織委員会委員長となる機会を与えていただきましたことを大変光栄に存じます。

新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、本来2021年開催予定だった本会議は、2年延期させていただき、現地開催を目指して準備をまいりました。新型コロナウイルス感染症が早急に終息することを願い、様々な感染防止対策を講じながら、皆さまが安心してご参加いただけるよう、現在、開催に向けて鋭意準備を進めております。ご理解の程、何卒よろしく願いいたします。

WRIの私の思い出としては、1989年にイギリスのマルバーンで開催された第6回 Water-Rock Interaction (事務局長: Dr. W. M. Edmunds) に参加したことであります。私が博士号を取得した直後で、初めてWRIの仲間入りをした時でした。

非常に素晴らしい会議で、セッションもフィールドエクスカージョンもとても興味深いものでした。特に、WRIの会合では、多くの若い研究者(博士課程学生)と親密な関係を築くことができ、また第一線の大先生方とお話することもでき、とても貴重な経験となりました。この会議は、世界のどの国で開催されても、常に刺激的でした。そして、私の研究キャリアはWRIと手を取り合って発展してきたといっても過言ではございません。ですから、2023年に仙台でWRI会議を開催できるということは、大変光栄なことでもあります。WRIの雰囲気や皆さんと共有し、本会議が世界中の若い研究者や学生の、研究に対するモチベーションを高める良い機会となっただけのよう、全力で取り組んでまいります。

さらに、IAGCの2大ワーキンググループ(WRI, Water Rock Interaction と AIG, Applied Isotope Geochemistry)の、合同開催となります。参加者間の友好的な関係を構築し、若手研究者、シニア研究者、学生を問わず、意見交換、会議、コミュニケーションを促進できる場となるよう、皆様のために創意工夫を図った興味深いプログラムを考えております。フィールドトリップもあり、この会議の枠組みの中で、日本の文化もいろいろと紹介し、日本のおもてなしを肌で感じていただければ幸いです。

私たちのコミュニティで最も重要な相互作用は、国や世代を超えた人と人との相互作用であり、偉大で長い人間同士の交流の歴史があります。新型コロナウイルスに打ち克ち、1日も早い終息とともに、予定通り開催できることを信じ、活力に満ちた次世代の若手を育てるためにも、活発な議論を皆さまと仙台でできることを強く願っています。多くの皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

第17回岩石-水相互作用国際会議組織委員会
委員長 土屋 範芳

I. 開催概要

1. 会議の名称

和文：第 17 回岩石-水相互作用国際会議

英文：The 17th International Symposium on Water-Rock Interaction（略称：WRI-17）

和文：第 14 回応用同位体地球化学国際会議

英文：The 14th International Symposium Applied Isotope Geochemistry(略称：AIG-14)

2. 開催期間

2023 年（令和 5 年）8 月 18 日（金）～ 8 月 22 日（火）

3. 開催場所

仙台国際センター 展示棟 〒980-0856 宮城県仙台市青葉区青葉山

4. 主催

第 17 回岩石-水相互作用国際会議組織委員会

5. 共催

日本地球化学会・日本鉱物科学会・日本地質学会・資源・素材学会・日本地熱学会
資源地質学会

6. 参加予定者数

400 名（国内：100 名、海外：300 名 約 20 ヲ国）

7. 会議開催の経緯と概要

本国際会議は、前回開催地の最終日に次回開催地が立候補しプレゼンテーションののち、参加全員の投票により決定される。第 16 回 International Symposium on Water-Rock Interaction トムスク大会の最終日（2019 年 7 月 26 日）に総会が開催され、日本（仙台）のほかドイツとイタリアが立候補し、第一次投票でドイツと日本（仙台）が残り、決選投票で日本（仙台）での開催が決定した。WRI は、岩石と水の相互作用に関わる研究の発表、討論の場として、2 年に 1 度開催されている。本来であれば 2021 年の開催であったが、新型コロナウイルス感染症の影響で 4 年ぶりの開催となり、日本での開催は 1983 年以来 40 年ぶりとなる。

II. 会議運営組織

1. 主催

名称： 第17回岩石-水相互作用国際会議組織委員会

代表者： 大会組織委員長 土屋 範芳 八戸工業高等専門学校 校長

2. 設置委員会

| | | |
|-------|---------------------------|-----------------------------|
| 組織委員長 | 土屋 範芳 | 八戸工業高等専門学校 校長 |
| 副委員長 | 中村 美千彦 | 東北大学大学院 理学研究科 |
| | 掛川 武 | 東北大学大学院 理学研究科 |
| 委員 | 足立 達朗 | 九州大学大学院 比較社会文化研究院 |
| | 藤本 光一郎 | 東京学芸大学 教育学部 広域自然科学講座 |
| | 永治 方敬 | 東京大学大学院 理学系研究科 |
| | 浅沼 宏 | 産業技術総合研究所 福島再生可能エネルギー研究センター |
| | 原 淳子 | 産業技術総合研究所 地質調査総合センター |
| | 奥山 康子 | 産業技術総合研究所 |
| | 廣井 美邦 | 国立極地研究所 |
| | 東野 文子 | 京都大学大学院 理学研究科 |
| | 河上 哲生 | 京都大学大学院 理学研究科 |
| | 石川 正弘 | 横浜国立大学大学院 環境情報研究院 |
| | 佐藤 努 | 北海道大学大学院 工学研究院 |
| | MADHUSOODHAN SATISH KUMAR | 新潟大学大学院 自然科学研究科 |
| | 中村 謙吾 | 埼玉大学大学院 理工学研究科 |
| | 野原 壮 | 日本原子力研究開発機構 人形峠環境技術センター |
| | 新堀 雄一 | 東北大学大学院 工学研究科 |
| | 駒井 武 | 東北大学大学院 環境科学研究科 |
| | 岡本 敦 | 東北大学大学院 環境科学研究科 |
| | 平野 伸夫 | 東北大学大学院 環境科学研究科 |
| | 渡邊 則昭 | 東北大学大学院 環境科学研究科 |
| | 宇野 正起 | 東北大学大学院 環境科学研究科 |
| | 小寺 保彦 | 石油技術協会 会長 |
| | 五味 篤 | 資源地質学会 会長 |
| ポード | 大和田正明 | 一般社団法人 日本鉱物科学会 会長 |
| | 南 雅代 | 一般社団法人 日本地球化学会 会長 |
| | 海江田秀志 | 日本地熱学会 会長 |
| | 朝日 弘 | 一般社団法人 資源・素材学会 会長 |
| | 岡田 誠 | 一般社団法人 日本地質学会 会長 |
| 監事 | 辻森 樹 | 東北大学 東北アジア研究センター |

(敬称略)

3. 会議主催者代表・連絡先

第 17 回岩石-水相互作用国際会議 | 第 14 回応用同位体地球化学国際会議組織委員会

代表者：委員長 土屋 範芳 八戸工業高等専門学校 校長

〒980-0845 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-20

東北大学大学院環境科学研究科内

TEL：022-795-6336

FAX：022-795-6336

4. 各種お問い合わせ先

第 17 回岩石-水相互作用国際会議 | 第 14 回応用同位体地球化学国際会議運営事務局

株式会社コンベンションリンクージ LINKAGE 東北内

〒980-6020 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30 20 階

TEL：022-722-1657

FAX：022-722-1658

E-mail：wri17@c-linkage.co.jp

III. 収支予算書

【収入】

| 項目 | | 数量 | 単価 | 合計 |
|----------|----------------------|------------|-------------|-------------------|
| 1 | 参加登録費 | 400 | | 18,610,000 |
| | 1) Early Bird | | | 12,380,000 |
| | 2) Regular | | | 6,230,000 |
| 2 | オフィシャルディナー | | | 3,600,000 |
| | 1) 参加費 | 300 | 12,000 | 3,600,000 |
| 3 | 協賛・展示出展 | | | 10,230,000 |
| | 1) 共催セッション | 24 | 330,000 | 7,920,000 |
| | 2) 基礎小間A | 4 | 220,000 | 880,000 |
| | 3) 基礎小間B/スペース小間 | 8 | 165,000 | 1,320,000 |
| | 4) 書籍・標本等展示 | 10 | 11,000 | 110,000 |
| 4 | 広告掲載 | | | 550,000 |
| | 1) ウェブサイトバナー広告 | 10 | 55,000 | 550,000 |
| 5 | 各種助成金・補助金・寄付金 | | | 2,500,000 |
| | | | 収入合計 | 35,490,000 |

【支出】

| 項目 | | 合計 |
|----------|---------------|-------------------|
| 1 | 会議準備費 | 5,990,000 |
| | 1) 人件費 | 1,100,000 |
| | 2) 企画・制作費 | 4,500,000 |
| | 3) その他諸経費 | 390,000 |
| 2 | 会議運営費 | 27,300,000 |
| | 1) 当日人件費 | 6,700,000 |
| | 2) 会場関連費 | 9,000,000 |
| | 3) 機材・施工関係費 | 6,600,000 |
| | 4) 社交行事・接遇関係費 | 4,000,000 |
| | 5) その他 | 1,000,000 |
| 3 | 事後処理費 | 200,000 |
| 4 | 業務委託費 | 2,000,000 |
| | | 支出合計 |
| | | 35,490,000 |

共催セッション募集要項

1. 募集枠

| セッション種別 | 共催費(税抜) | 枠数 |
|---------|-----------|----|
| 共催セッション | 300,000 円 | 24 |

※プログラム全体の都合により変更になる可能性もありますので予めご了承下さい。

※レイアウト状況により、席数は変動する場合がございます。

2. 共催費

■以下の費用は共催費に含まれます。

- ① 会場費及び設備備品
- ② 控室料
- ③ 音響・照明使用料
- ④ 発表機材、備品
- ⑤ 運営スタッフ（アナウンス係、進行掲示係、会場内 PC オペレーター）

※録画等、追加でかかる費用は貴社にてご負担いただきます。

■以下の費用は共催費に含まれませんが、オプションにてお申込が可能です。詳細につきましては共催枠確定後、別途「共催セミナー実施要項」にてご案内いたします。

- ① 食事代：参加者用弁当・軽食・飲み物、座長・演者打合せ食事等
- ② 追加機材：同時通訳、収録（録音・録画）、控室の機材等
- ③ 管理費（上記手数料 15%）

※座長・演者の謝礼・交通費・宿泊費、共催セッション独自のポスター・チラシ等の印刷費は共催費には含まれません。

3. 申し込み方法

下記の URL よりお申し込みください。QR コードのご利用も可能です。

<https://www.secure-form.info/lsp/users/login/wri17>



4. 申込締め切り

2023 年 5 月 31 日 (水)

5. お支払い方法

請求書発行日から1ヶ月以内に、指定口座にお振込みください。

6. 振込み口座

銀行名：七十七銀行

支店名：八幡町支店（256）

口座番号：普通 5025638

口座名： 岩石水相互作用国際会議組織委員会 委員長 土屋 範芳

口座名ヨミガナ：ガンセキミズソウゴサヨウコクサイカイギソシキイインカイ

7. 申込取り消し 申込後の取り消しはできません。

《免責事項》

主催者は不可抗力またはやむを得ない事情により、開催形態の変更（完全WEB開催）または開催の延期・中止をする場合があります。中止の際は掲載料の一部または全額を返金しますが、申込者側の経費に関しては、主催者は保証の責を負いません。

8. お問い合わせ先

WRI17/AIG14 運営事務局

〒980-6020 宮城県仙台市青葉区中央 4-6-1 SS30 20F

(株)コンベンションリンケージ LINKAGE 東北内

TEL：022-722-1657

FAX：022-722-1658

E-mail：wri17@c-linkage.co.jp